

第110回 地区内中小企業景気動向調査結果

(平成28年4～6月期実績・平成28年7～9月期見通し)

1. 調査時点 平成28年6月1日～6月7日
2. 調査対象企業数 173社中回答 173社 回答率 100.0%

| 区分 | 調査対象企業の範囲 | 調査対象企業数 | 有効回答数 | 有効回答率(%) |
|-------|------------|---------|-------|----------|
| 製造業 | 従業員 300人以下 | 39 | 39 | 100.0 |
| 建設業 | 〃 | 42 | 42 | 100.0 |
| 卸売業 | 従業員 100人以下 | 7 | 7 | 100.0 |
| 小売業 | 従業員 50人以下 | 54 | 54 | 100.0 |
| サービス業 | 〃 | 31 | 31 | 100.0 |
| 合計 | | 173 | 173 | 100.0 |

3. 調査方法

当金庫調査員の面接聞き取りによる感触調査です。

調査対象企業は、当金庫の営業区域（新冠町～広尾町）内に所在する企業とし、その抽出は、各業種・規模等の基本属性の構成が、調査対象母集団の属性に見合う一定基準に基づいて有意抽出で行っています。

4. 分析方法

各質問項目で「増加（上昇）」したと回答した企業の全体に占める構成比と、「減少（下降）」したと回答した企業の全体に占める構成比との差（判断指数・D I 値）を中心にして分析を行っています。

なお、同時に信金中央金庫 地域・中小企業研究所が行う、全国調査結果と地区内との比較分析を行っています。

5. お問い合わせ先

日高信用金庫 業務部地域貢献課（TEL. 0146-22-4100、内線 621）
〒057-0013 浦河郡浦河町大通 2 丁目 31 番地 2

全業種総合 173 企業 (回答率 100.0%) の調査結果です





































□ 概 況








今期（平成 28 年 4～6 月期）の業況判断 D. I. は△23.7 と、前期（平成 28 年 1～3 月期）比 11.5 ポイント良化となった。前年（△29.5）比では 5.8 ポイント上昇、前期（平成 28 年 1～3 月期）調査時点での今期（平成 28 年 4～6 月期）見通し（△20.2）を 3.5 ポイント下回る水準となった。業種別には、製造△17.9（前期△17.9）、建設△11.9（同△21.4）、卸売△42.8（同△100.0）、小売△33.3（同△48.2）、サービス△25.9（同△38.7）となった。

売上額判断、収益判断 D. I. は△9.2、△7.5 と前期比 34.2 ポイント、35.8 ポイントとそれぞれ上昇した。

来期（平成 28 年 7～9 月期）の予想業況判断 D. I. は△17.9 と、今期実績比 5.8 ポイントの上昇見通しとなった。業種別にみると、製造 2.6、建設△4.7、卸売△42.8、小売△37.0、サービス△22.6 と来期を見通している。

【業種別天気図】

| 時 期 業 種 | 地 区 内 | | | | 北 海 道 | 全 国 |
|------------|---|---|---|--|---|---|
| | 27 年 10 月～12 月 | 27 年 1 月～3 月 | 28 年 4 月～6 月 | 28 年 7 月～9 月見通し | 当 期 | 当 期 |
| 総 合 |  |  |  |  |  |  |
| 製 造 業 |  |  |  |  |  |  |
| 建 設 業 |  |  |  |  |  |  |
| 卸 売 業 |  |  |  |  |  |  |
| 小 売 業 |  |  |  |  |  |  |
| サ ー ビ ス 業 |  |  |  |  |  |  |

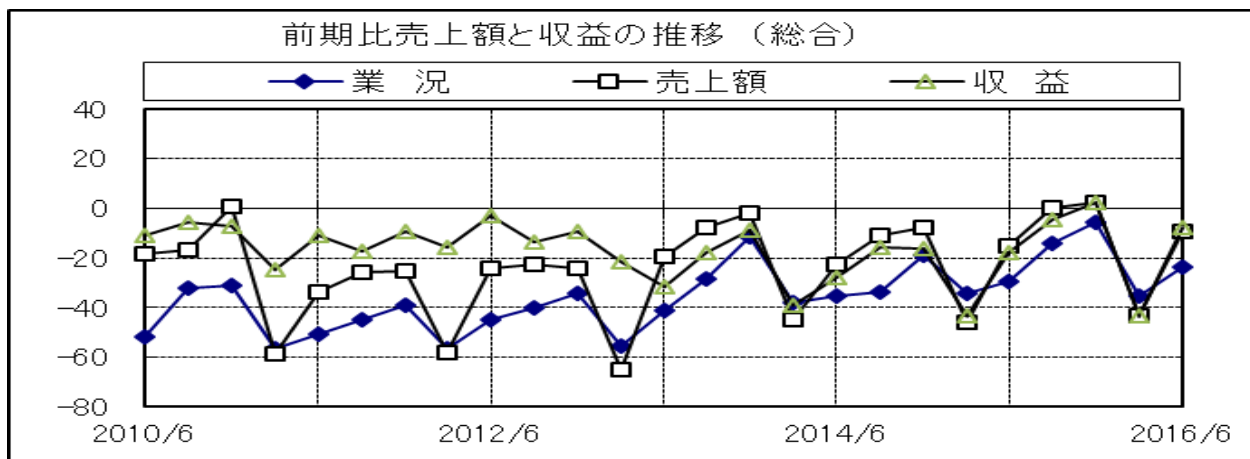
好調 ←        → 低調

この天気図は、景気指標を総合判断して作成したものです。

□ 景 況

| DI 値 の推移 | 10~12月 期実績 | 1~3月 期実績 | 4~6月 期実績 | 7~9月 期見通し |
|-------------|---------------|-------------|-------------|--------------|
| 業 況 | -5.7 | -35.2 | -23.7 | -17.9 |
| 売上額 | 2.3 | -43.4 | -9.2 | 5.2 |
| 収 益 | 2.3 | -43.3 | -7.5 | -4.6 |

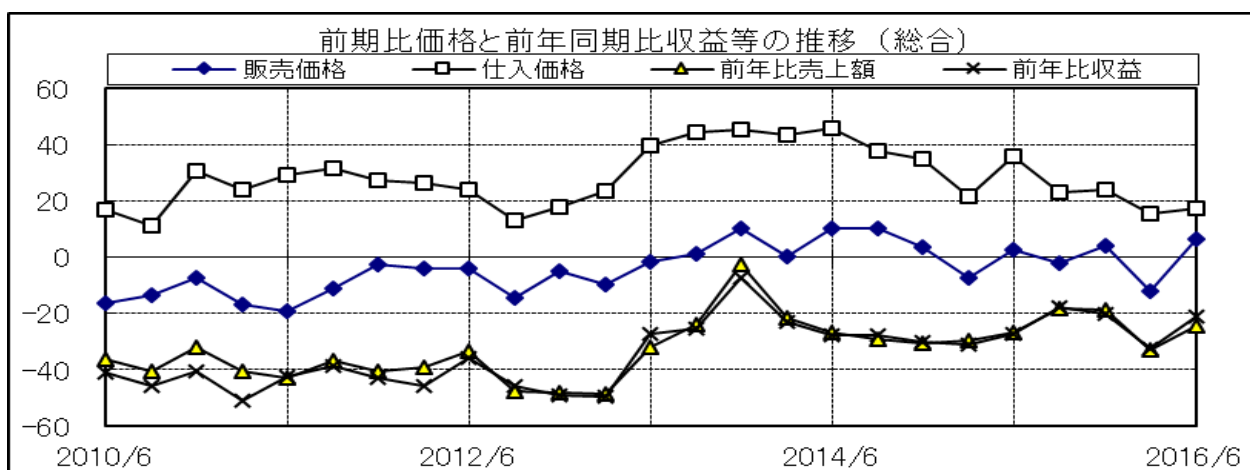
全業種総合の今期の業況判断D. I. は $\Delta 23.7$ と、前期比11.5ポイント上昇した。地区別のD. I. は、高い順に、えりも、静内、広尾、様似、浦河、三石となった。業況判断D. I. は前年 ($\Delta 29.5$) 比では5.8ポイント上昇した。売上額判断、収益判断D. I. は $\Delta 9.2$ 、 $\Delta 7.5$ と前期比34.2ポイント、35.8ポイント上昇した。



□ 価格面、前年同期に比した動き

| DI 値 の推移 | 10~12月 期実績 | 1~3月 期実績 | 4~6月 期実績 | 7~9月 期見通し |
|-------------|---------------|-------------|-------------|--------------|
| 販売価格 | 4.0 | -12.2 | 6.4 | 0.6 |
| 仕入価格 | 24.2 | 15.6 | 17.3 | 10.4 |

販売価格判断D. I. は6.4と、前期比18.6ポイント上昇しプラスに転じた。仕入価格判断D. I. は17.3と、前期比1.7ポイント上昇した。販売価格を業種別にみると製造、建設、卸売、小売業で上昇し、サービス業は横這いとなった。仕入価格では、製造、サービス業は下降、建設、卸売、小売業は上昇となった。前年比で見ると、販売価格は（前年2.8）3.6ポイント上昇、仕入価格は（前年35.8）18.5ポイント下降した。



□ 雇用面の動き

| DI 値 の推移 | 10~12月 期実績 | 1~3月 期実績 | 4~6月 期実績 | 7~9月 期見通し |
|-------------|---------------|-------------|-------------|--------------|
| 残業時間 | 5.2 | -13.9 | -8.1 | -1.1 |
| 人手状況 | -20.9 | -8.7 | -16.7 | -21.3 |

残業時間判断D. I. は $\Delta 8.1$ と、前期比5.8ポイント上昇し、残業時間が減少したとする企業割合が減少した。

人手過不足判断D. I. は $\Delta 16.7$ と、前期比8.0ポイント下降し、人手不足感を強めた。

□ 設備投資の動き

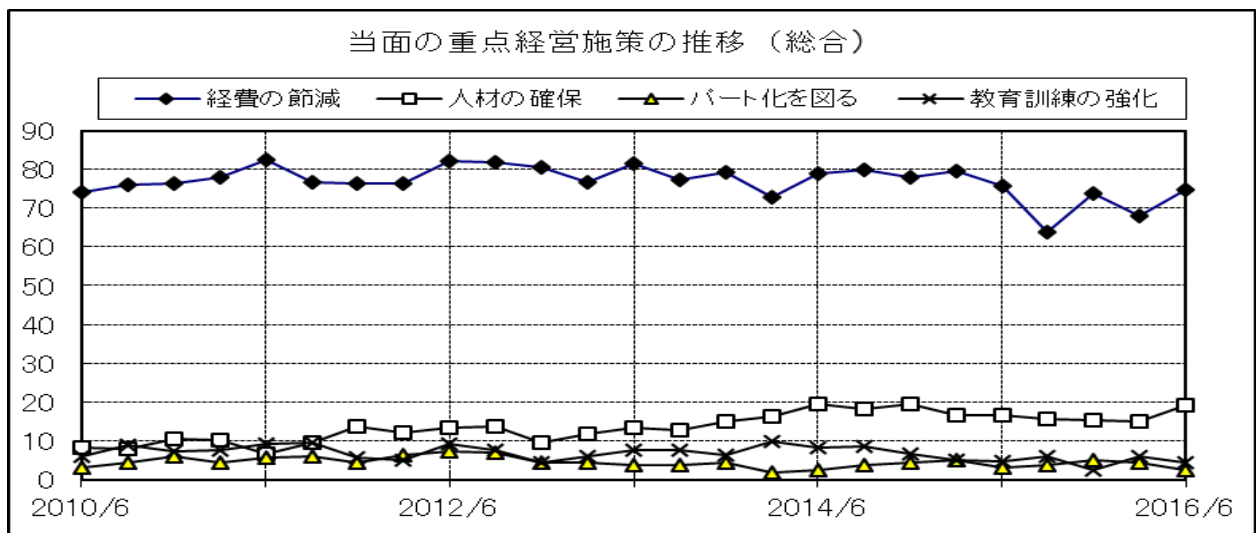
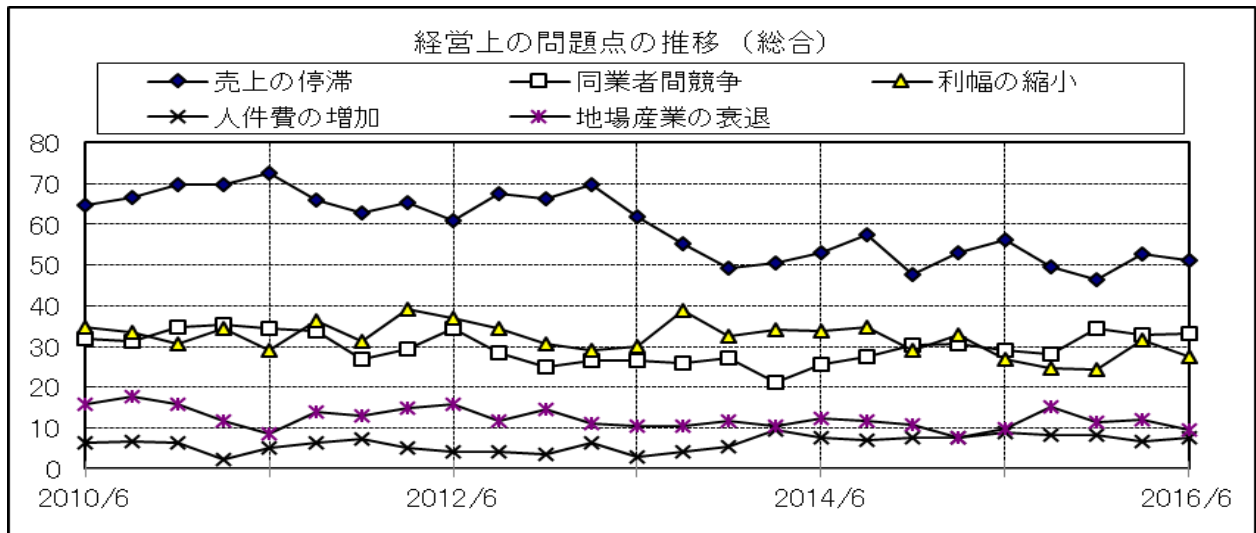
設備投資の充足感を示すD. I. は△11.5 と、前期比2.8ポイント下降した。

設備投資実施企業割合は17.3%と、前期比5.2ポイント上昇、設備投資は、前期21社に対し、30社の実施となった。来期の設備投資は、21社の予定となっている。

□ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「売上の停滞減少」が51.2%で最も多く、次に「同業者との競合」33.3%、「利幅の縮小」27.4%、「地場産業の衰退」9.5%と続いた。

重点経営施策では、「経費の節減」が74.7%で突出している。次に「人材の確保」19.0%、「教育訓練を強化」が4.4%となっている。



□ 来期の見通し

来期の予想業況判断D. I. は△17.9 と、今期比5.8ポイントの上昇を見通している。

予想売上額判断D. I. は5.2 と、今期比14.4ポイントの上昇を見通している。

予想収益判断D. I. は△4.6 と、今期比2.9ポイントの上昇を見通している。

予想販売価格判断D. I. は0.6 と、今期比5.8ポイントの下降を見通している。

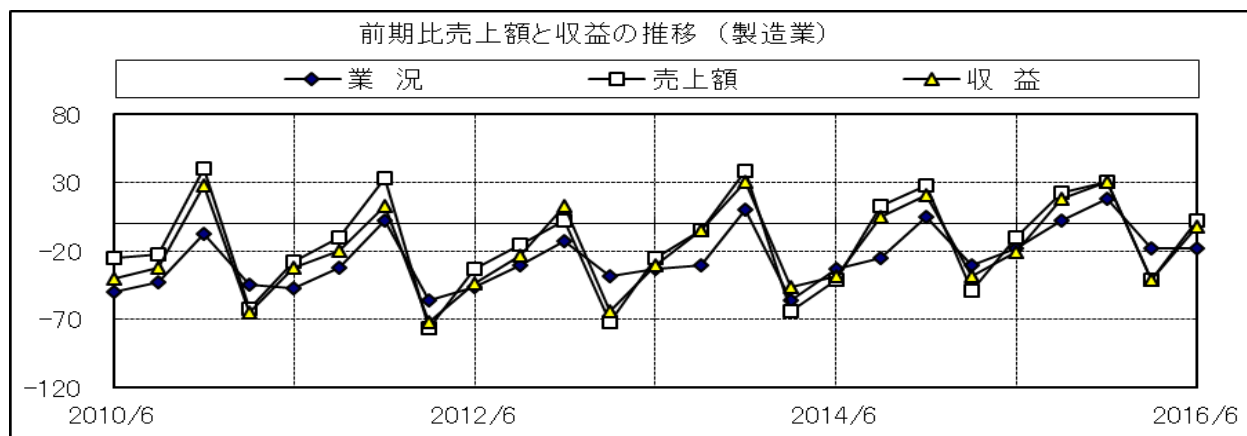
予想仕入価格判断D. I. は10.4 と、今期比6.9ポイントの下降を見通している。

製造業 39 企業 (回答率 100.0%) の調査結果です

□ 景 況

| DI 値 の推移 | 10~12月 期実績 | 1~3月 期実績 | 4~6月 期実績 | 7~9月 期見通し |
|-------------|---------------|-------------|-------------|--------------|
| 業 況 | 18.0 | -17.9 | -17.9 | 2.6 |
| 売上額 | 30.8 | -41.0 | 2.5 | 12.8 |
| 収 益 | 30.8 | -41.0 | -2.5 | -0.1 |

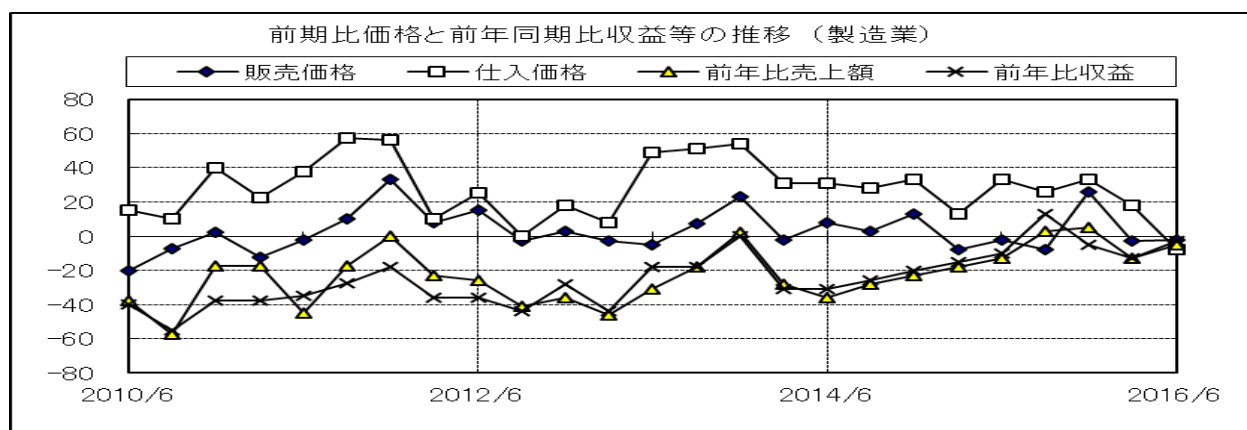
今期の業況判断 D. I. は△17.9 と前期比横這いとなった。地区別の D. I. は、高い順に浦河・広尾、えりもとなり、静内・様似が同率で続き、三石が最も低い水準となった。前年比では同率となった。売上額判断 D. I. (前年△10.3)、収益判断 D. I. (前年△20.6) は 12.8 ポイント、18.1 ポイントの上昇となった。



□ 価格面の動き・前年同期に比べた動き

| DI 値 の推移 | 10~12月 期実績 | 1~3月 期実績 | 4~6月 期実績 | 7~9月 期見通し |
|-------------|---------------|-------------|-------------|--------------|
| 販売価格 | 25.7 | -2.6 | -2.5 | -5.2 |
| 仕入価格 | 33.4 | 17.9 | -7.6 | -7.7 |

販売価格判断 D. I. は△2.5 と、前期比 0.1 ポイント上昇、前年 (△2.5) 比では同水準となった。仕入価格判断 D. I. は△7.6 と、前期比 25.5 ポイント下降、前年 (33.3) 比では 40.9 ポイントの大幅な下降となった。業種別では、食品が販売価格上昇、仕入価格下降、木材が販売価格上昇、仕入れ価格下降となった。



□ 雇用面の動き

| DI 値 の推移 | 10~12月 期実績 | 1~3月 期実績 | 4~6月 期実績 | 7~9月 期見通し |
|-------------|---------------|-------------|-------------|--------------|
| 残業時間 | 23.0 | -20.4 | -7.7 | -2.5 |
| 人手状況 | -38.5 | -10.3 | -15.4 | -25.6 |

残業時間判断 D. I. は△7.7 と、前期比 12.7 ポイント上昇し、残業時間が減少したとする企業割合は減少した。

人手過不足判断 D. I. は△15.4 と前期比 5.1 ポイント下降し、人手不足感を強めた。

□ 設備投資の動き

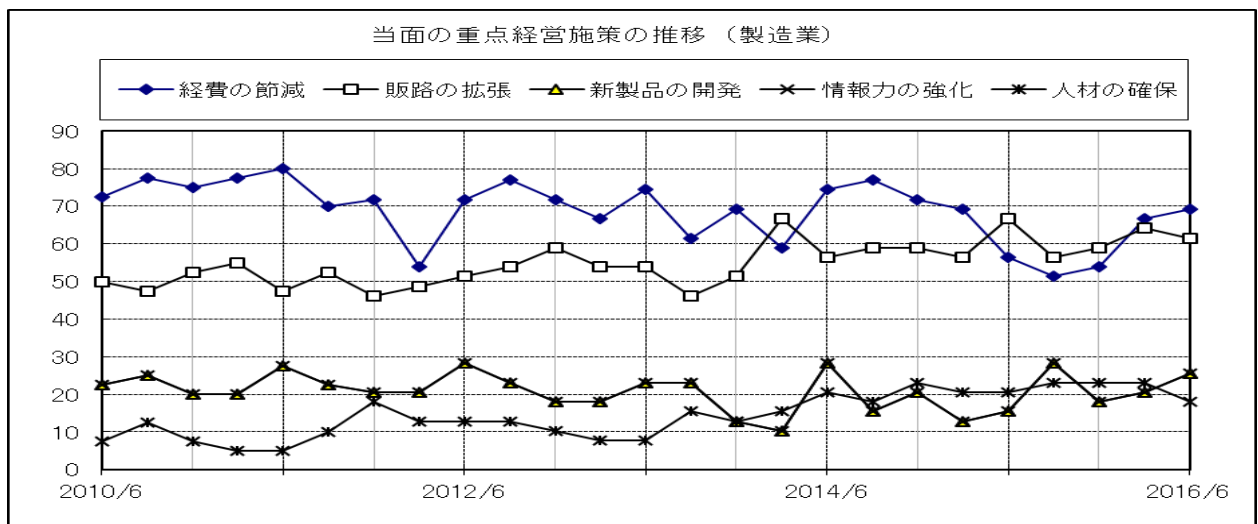
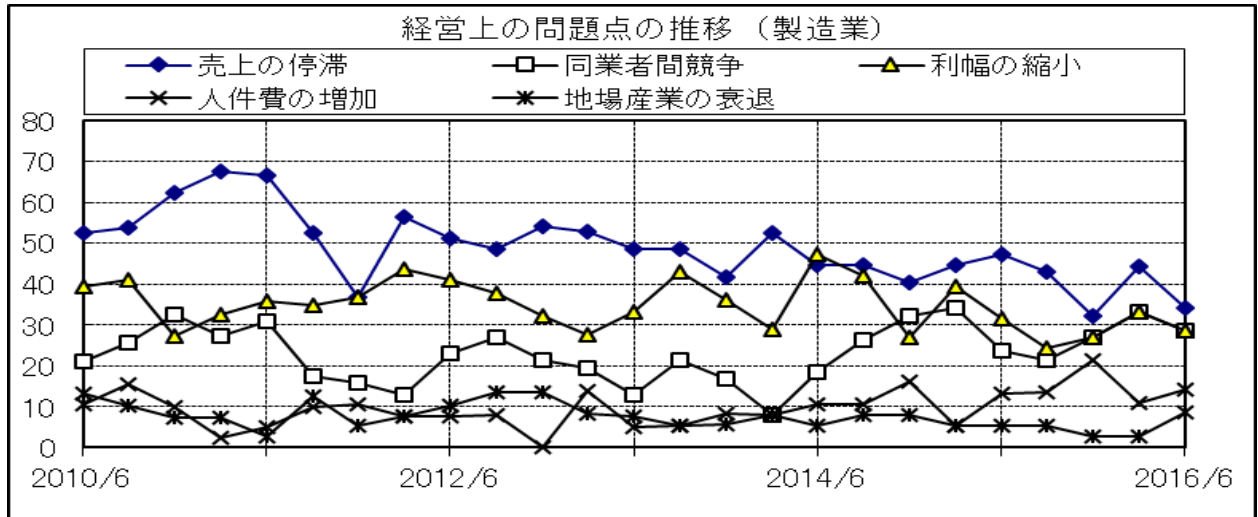
設備投資の充足感を示すD. I. は△15.4と、前期比7.7ポイント下降した。

設備投資実施企業割合は20.5と、前期比2.6ポイント上昇、設備投資は、前期7社に対し、8社の実施となった。来期の設備投資は、6社の予定となっている。

□ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「原材料高」37.1%、「売上停滞減少」34.3%、次に「同業者との競争」・「利幅の縮小」が同率で28.6%、「人手不足」25.7%、「工場機械の老朽化」22.9%と続いた。

重点経営施策では、「経費の節減」69.2%、「販路を広げる」61.5%、「情報力を強化する」「新製品の開発」が同率の25.6%、「人材を確保する」17.9%で続いた。



□ 来期の見通し

来期の予想業況判断D. I. は2.6と、今期比20.5ポイントの上昇を見通している。

予想売上額判断D. I. は12.8と、今期比10.3ポイントの上昇を見通している。

予想収益D. I. は△0.1と、今期比2.4ポイントの上昇を見通している。

予想販売価格判断D. I. は△5.2と、今期比2.7ポイントの下降を見通している。

予想仕入価格判断D. I. は△7.7と、今期比0.1ポイントの下降を見通している。